

台風や大雨の後の被害と、その後の回復の様子を記録しよう

期間目安	1週間	費用目安	低
研究タイプ	観察	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

台風や大雨が来た際の株の被害の様子と、その後の回復過程を1週間ほど記録します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 支柱がしっかりしている株の方が被害が少ないのではないか
- 折れた茎でも一部は回復するのではないか

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- カメラ
- 記録シート
- 支柱・補強道具

4. 進め方（1週間プラン）

1日目（被害発生後）	被害状況を撮影・記録する
2〜6日目	回復の様子を観察し記録する
7日目	結果をまとめる

5. 記録シートの例

日付	被害の様子	対処したこと	回復の様子

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 悪天候時の観察は安全を最優先し、無理をしない
- 事前の備え（支柱補強など）も記録に残す

7. まとめ方・考察のポイント

- 天候被害への備えと回復力についてまとめる
- 今後の対策について考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと

